

山陰中央新報

令和3年8月15日 掲載

夏の朝茶事道具

【奥出雲】江戸時代に松江藩の鉄師を務めた絲原家の文化遺産を紹介する絲原記念館（島根県奥出雲町大谷）で、「朝茶事」に使う道具など約50点が並ぶ。9月5日まで。



近衛文麿の書など茶事にまつわる逸品が並ぶ会場
|| 島根県奥出雲町大谷
絲原記念館

朝茶事は夏に催され、日中の暑さを避けるため朝のうちにかかれる。

舟形の花入れ、山水が描かれた伊万里焼の水差し、懐石で使われるガラス食器からは、涼やかさが連想される。絲原家に滞在し、ゆかりの深い近衛文麿の「白雲抱幽石」の掛け軸のほか、近衛作の茶しゃく「八重垣」も展示された。

ヒマワリ柄の藍染めの浴衣、ガラス製ののれんやシヤンパングラス、アイスクリーム製造機といった生活用品は、絲原家の夏の暮らしを伝える。

開館時間は午前9時〜午後5時。入館料は大人650円、高校・大学生450円、小中学生250円。会期中無休。（狩野樹理）